

令和6年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野市立文化会館

指定管理者名：公益財団法人 河内長野市文化振興財団

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	S	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	S	S
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	S	S
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	S	S
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	S	S
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	S	S
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	S
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	S	S
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

	事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	50,000,000	46,522,410	3,477,590	46,023,440
	自主事業収入	58,582,000	42,106,250	16,475,750	55,875,269
	物品販売収入	436,000	541,000	-105,000	428,100
	手数料収入	8,025,000	11,519,564	-3,494,564	9,210,152
	指定管理料	204,591,000	208,986,888	-4,395,888	201,582,305
	その他収入	6,731,000	9,233,581	-2,502,581	9,570,539
	収入総額	328,365,000	318,909,693	9,455,307	322,689,805
支出	人件費	95,860,000	97,408,382	-1,548,382	90,598,891
	事務費	2,081,000	1,995,549	85,451	2,221,086
	管理費	95,155,000	99,229,298	-4,074,298	97,816,881
	自主事業経費	108,494,000	88,871,527	19,622,473	101,410,650
	光熱水費	25,588,000	25,976,797	-388,797	24,980,635
	リース料	453,000	319,440	133,560	319,440
	その他	923,000	514,700	408,300	281,500
	支出総額	328,554,000	314,315,693	14,238,307	317,629,083
収支差額		-189,000	4,594,000	-4,783,000	5,060,722

3. 総合評価

自己評価
文化振興事業 ・ラブリール・オリジナル・ミュージカルvol.13「ナルニア国物語～ライオンと魔女と洋服ダンス～」を、8月4日(日)に2回公演で実施しました。累計1億2千万部を超える世界的な児童文学の金字塔「ナルニア国物語」をオリジナル脚本・オリジナル楽曲によりミュージカル化し上演。SNSを活用した広報や保護者会の開催などにより、1999年にミュージカル公演を開始して以来、最多の集客(1,250名)を得ることができました。 ・河内長野から全国に向け芸術作品の創造発信を行う「奥河内音絵巻」シリーズ第10弾となる新作音絵巻を、9月8日(日)に3回公演で実施しました。今回の音絵巻は国宝「日月四季山水図」の世界を、巨大大人立体アニメーションで舞台化しました。オーケストラ、だんじり、吹奏楽団、真言声明、創作楽器チーム、ミュージカルの子ども達、ワークショップ参加の市民と、音絵巻史上最多参加者数の約200名で繰り広げる壮大な創作舞台をお届けしました。その他、音絵巻開催10回を記念した写真展もギャラリーで実施しました。 ・2019年7月以降の開催となるマイタウンオペラ事業「オペラガラコンサート～陽気なオペラ歌手たちが歌に生き恋に生き～」を3月2日(日)に実施しました。誰もが一度は耳にしたことのあるオペラの名曲を12名のソリストたちが華やかに歌い上げました。クラシック初心者や子どもでも楽しめるようオペラの魅力や楽しさ、名曲に秘められたエピソード等をわかりやすく解説しながらお届けしました。また本公演前には市内の小・中学校にてオペラのアウトリーチ公演を実施しました。 ・創造発信型事業として制作している「ミュージカル」事業や「奥河内音絵巻」事業は、その内容が高く評価され、日本芸術文化振興会をはじめ様々な団体から合計760万円の補助金・助成金を獲得することができました。その他「オペラガラコンサート」も文化庁から711,000円の助成金を獲得することができました。 ・新たな取り組みとして「にゅーとにゅー ことば祭」や「みんなで遊ぼう！段ボール迷路!!」など子ども向けファミリーイベントを充実させました。その他、名作映画を小ホールで上映する「ラブリール名画座」シリーズを開始し、映画館のない河内長野で「シネマdeラブリール」シリーズと隔月で毎月映画を鑑賞する機会を提供しました。 施設管理及び貸館事業 ・一昨年に実施されたエスコ事業により改修されたGHPチラーについて、不具合が引き続き発生しています。事業者に原因の発見と修正を指示しているが解決に至っていません。お客様のご利用には支障がないよう運転管理することができました。 ・適切な点検や運転管理により、加圧給水ポンプの異音や汚水ポンプの異常をいち早く発見し、適切に修繕を行うことでお客様のご利用に支障のない運営ができました。 ・経年劣化によりご利用に支障のあった楽器(マリンバ・シロフォン)や舞臺幕(白紗幕)を財団資金にて購入し貸し出すことで、早期に支障を解消することができました。 ・施設利用率及び利用料金収入については、コロナ禍前の水準には届いていないが昨年度を超えることができました。 ・利用者アンケートの集計結果では、例年とおり高い評価をいただくことができました。「利用料金」以外の全項目で、「非常に良い」、「良い」を合わせた良評価が、90%を超えました。「次回のご利用」では「是非使いたい」、「できれば使いたい」の合計が100%の高評価を得ています。 法人運営 ・公認会計士と指導契約を結び、2ヵ月に1度程度帳簿検査と指導を受け適正な経理業務の執行に努めました。 ・社会保険労務士と顧問契約を結び、労働諸法の適正な遵守に努めました。 ・弁護士との顧問契約を結び、業務実施及び財団運営について各種法令の適正な遵守に努めました。 ・理事会及び評議員会並びに全役員が参加対象の意見交換会を開催し、法人事業運営の方向性等の確認を行いました。 ・公益法人として、財団事務所及びホームページ等で財団情報の公開に努めました。
市評価
文化振興事業 創造発信型事業であるラブリール・オリジナル・ミュージカル、奥河内音絵巻を含む、80以上の事業を実施したことを評価します。また市民参画型事業では数年ぶりとなるマイタウンオペラシリーズを実施することができたことは大変意義深いです。引き続き、市民が主役となる感動の場・創造の場づくりに取り組んでいただくとともに、SNSなどの広報活動による今後の発展を期待します。 施設管理及び貸館事業 経年劣化による設備不良が生じている中で、利用者のことを一番に考えて対応をいただいている点に大いに感謝するとともに、指定管理者の費用負担による楽器の購入などで長期的な施設の適切な維持管理を行う姿勢を評価します。大ホール・小ホールの利用率ともに年間の目標値を概ね達成し、ギャラリーについては目標値を上回っており、より良い貸館事業を行っていただいている点についても評価します。今後も施設利用者に寄り添った、より良い施設管理及び貸館事業を進めていただきますよう、お願いいたします。 法人運営 公認会計士と指導契約、また、社会保険労務士、弁護士と顧問契約を締結し、適正な法人運営に努めている点を評価します。